

総合的に取り組む重点課題 4 所沢ブランドの推進とまちの活性化

| 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | 成果 | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | 環境影響 | | |
|---------|--|---------------------------|--------------|----------------------|--|-------------------------|---|------------------|------------------------|---|-------------|-------|-------|-------|
| | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績 (H30) | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 有益なもの | 有害なもの | |
| 企画総務課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | H29予算現額 | H29決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | A | 所沢市には、自然や農作物、歴史・文化など様々な魅力があり、これらを「所沢ブランド」として捉えて、ホームページや各種メディアを活用し、情報発信に努めた。 | H30年度に改善した点 | 無 | 無 | |
| | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 | 44千円 | 7千円 | ①幹事会 ② ③ | 所沢市への定住意向 | 所沢市への定住意向 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | | | |
| | 根拠法令 | H30予算現額 | H30決算額(見込み) | 実績 | | | | | | | H29年度目標 | | | H29実績 |
| | - | 44千円 | 7千円 | | | | | | | | 79.5% | | | 80.0% |
| | 事業の具体的な内容及び目的 | H29正規職員人件費 | H29その他職員従事割合 | ①1回 ② ③ | H30年度目標 | H30実績 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | | | | |
| | 市内外から「住みたい」、「住み続けたい」思いを育む「誰もが選ぶまち」へのイメージアップを図ると同時に、企業・事業者には「業務の拠点としたい」良好なイメージを提供し、まちの活性化を目指す。 | 0.16人 | 非常勤特別職 | | | | | 80.0% | | | 80.8% | | | |
| 期間 | H23年度～ | 1,358千円 | 臨時職員 | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | R元年度目標 | - | | | | | | | |
| | | 0.15人 | 非常勤特別職 | 1,257千円 | 臨時職員 | | | | | | | | | |
| 文化芸術振興課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | H29予算現額 | H29決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | B | 「所沢＝音楽のまち」というブランドを確立していくために、現在、事業（「音まち推奨制度」、その他イベント等）に力を入れて取り組んでいるが、目的の達成に向け模索している部分も多い。 | H30年度に改善した点 | 無 | 無 | |
| | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 | 744千円 | 268千円 | ①「音まちコンサート」の実施 ②「まちなかコンサート」の実施 ③ | 「音まち」推奨制度推奨数 | 市内で定期的、継続的に開催している、営利を主目的とせず、広く市民を対象としている音楽行事やそうした活動をしている音楽団体(個人)を推奨することで、本市を市内外にアピールしてイメージアップをはかるため。 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | | | |
| | 根拠法令 | H30予算現額 | H30決算額(見込み) | 実績 | | | | | | | H29年度目標 | | | H29実績 |
| | 文化芸術基本法 | 371千円 | 75千円 | | | | | | | | 100件 | | | 90件 |
| | 事業の目的及び具体的な内容 | H29正規職員人件費 | H29その他職員従事割合 | ①2回 ②8回 ③ | H30年度目標 | H30実績 | 推奨の選定基準の1つである「市内で定期的、継続的に開催している」という部分を精査した上で推奨しているため、実績が伸びにくい。また、「定期的」の基準は、年1度開催に限らず、2年に1度、3年に1度等の音楽行事も含まれており、年によって推奨数の増減幅がある。今後は、近年地元根づきはじめて音楽行事等を探して推奨するとともに、「量より質」という考え方もあることから、クオリティの維持、向上も図っていく。 | | | | | | | |
| | あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいく。プロ、アマを問わず市内音楽団体(個人)の活動を掌握し、情報発信や連携を支援し、音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図る。 ①「音まち」推奨制度・音楽情報サイトが独自に入手した情報等の中から、市が認定する制度。 ②「音まちコンサート」・・・「音まち」事業のPR、市民の気軽な鑑賞の場として実施する庁内コンサート。 ③「まちなかコンサート」・・・若手ミュージシャンの発表の場、まちなかでの音楽鑑賞の場。 ④「音まちMAP」発行等、各種PR事業。 | 0.85人 | 非常勤特別職 | | | | | 0.00人 | | | 100件 | | | 90件 |
| 期間 | 平成25年度～ | 7,212千円 | 臨時職員 | 0.05人 | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | R元年度目標 | 100件 | | | | | | |
| | | 0.67人 | 非常勤特別職 | 0.00人 | 5,615千円 | 臨時職員 | 0.05人 | | | | | | | |
| 経営企画課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | H29予算現額 | H29決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | B | 成果指標とした市民全体の認知度の達成度は低いが、他の事業に比べると市内団体及び組織等からの説明要請は多く、また文化創造会議も多くの方が参加している。今後は、市域全体、市域を超えた広範な周知を図るための情報発信を工夫していく必要がある。 | H30年度に改善した点 | 無 | 無 | |
| | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 | 6,338千円 | 5,839千円 | ①各団体等への説明会回数 ②文化創造会議参加者数 ③TEAM START開催回数 | COOL JAPAN FOREST構想の認知度 | 本構想がどれだけ浸透しているかを測るため、所沢市市民意識調査でCOOL JAPAN FOREST構想を「知っている」と答えた人の割合を指標とする。所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略でもH31年度までに80%を目指すこととしている。 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | | | |
| | 根拠法令 | H30予算現額 | H30決算額(見込み) | 実績 | | | | | | | H29年度目標 | | | H29実績 |
| | 特になし | 6,746千円 | 5,613千円 | | | | | | | | 80.0% | | | 42.1% |
| | 事業の目的及び具体的な内容 | H29正規職員人件費 | H29その他職員従事割合 | ①10回 ②365名 ③1回 | H30年度目標 | H30実績 | 本構想に関係の深い東所沢地域を中心に周知啓発を行ってきたため、市域全体にはまだまだ浸透していないものと思われる。東所沢地域に関しては6割以上の方に認知されてきている。 | | | | | | | |
| | 株式会社KADOKAWAと協力して文化事業や企業誘致等、産官共同で事業展開を行い、構想に示した「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現を目指す。推進会議「TEAM START」での協議や、構想推進に関する協定を締結するとともに、イベントでのブース出展や文化創造会議の開催等の啓発、情報発信を行うなど、「みどり・文化・産業が調和したまち」の創出に向けた事業を展開する。 | 0.99人 | 非常勤特別職 | | | | | 0.10人 | | | 80.0% | | | 43.8% |
| 期間 | H27年度～ | 8,400千円 | 臨時職員 | 0.10人 | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | R元年度目標 | 80.0% | | | | | | |
| | | 0.86人 | 非常勤特別職 | 7,207千円 | 臨時職員 | 0.10人 | | | | | | | | |

総合的に取り組む重点課題 4 所沢ブランドの推進とまちの活性化

| 所属名称 | 事務事業名称 | 事業概要(全体) | 経費 | | | | 成果 | | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど | | | 環境影響 | | |
|-------|---------------|---|--------------|--------------|-----------------------------|------------------------------|---|--|--------------|---|---|-------|-------|------|--|--|
| | | | 会計 | 投入コスト | | 活動実績 (H30) | 成果指標 | | 総合評価 | 評価理由 | 現状の課題 | 有益なもの | 有害なもの | | | |
| 企画総務課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | H29予算現額 | H29決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | A | イタリア共和国のホストタウンとして、イタリア競歩チームの受入れやコーリ旗手団との交流などを通じて、大会の機運を醸成した。 | H30年度に改善した点 | | 無 | 無 | | |
| | 最優先 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 | 567千円 | 461千円 | ①小学校向けゴールボール体験会 | 意識啓発事業数 | 大会の機運醸成及びパラスポーツへの理解を深めることを事業の目的としているため、啓発事業数を指標としている。 | | | | H30年度に改善した点 | | | | | |
| | 根拠法令 | - | H30予算現額 | H30決算額(見込み) | ②市HPコンテンツ数 | | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | ホストタウンのPRに協力いただく企業(ホストタウン応援企業)の募集を開始した。また、市内飲食店のシェフによる料理教室を開催するなど民間資源を活用した啓発事業を実施した。 | | | | | |
| | 事業の具体的な内容及び目的 | 2020東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、様々なスポーツや他国の文化に触れながら、障害のあるなしにかかわらずスポーツを楽しめるまちづくりをめざし、啓発事業の企画・運営、スポーツ体験会の開催、スポーツ選手の応援、情報発信、ホストタウンに関する事業を行う。 | H29正規職員人件費 | H29その他職員従事割合 | ③ | H29年度目標 | H29実績 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | | | | | |
| | 期間 | H26年度～H32年度 | 0.81人 | 非常勤特別職 | 実績 | 10回 | 10回 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | イタリアホストタウン及びゴールボールの認知度を上げ、市域全体で大会を盛り上げるため、周知・啓発活動を積極的に展開する。 | | | | | |
| | | | 6,873千円 | 臨時職員 | ①4校 | H30年度目標 | H30実績 | 目標達成済 | | | | | | | | |
| | | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | ②21ページ | 10回 | 25回 | | | | | | | | | | |
| | | 1.18人 | 非常勤特別職 | ③ | R元年度目標 | | | | 評価者 | | | | | | | |
| | | 9,888千円 | 臨時職員 | | 15回 | | | | 企画総務担当 内野 孝雄 | | | | | | | |
| 企画総務課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | H29予算現額 | H29決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | B | 埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)男女共同参画部会の取組として、他自治体と連携した婚活イベントを実施した。 | H30年度に改善した点 | | 無 | 無 | | |
| | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 | 40千円 | 5千円 | ①イベント実施回数 | イベントの満足率 | 参加者同士の交流機会創出及び市の魅力PRを目的としている事業のため、イベントの満足率を指標としている。なお、満足率はアンケートでイベントが「よかった」「まあよかった」と回答した割合である。 | | | | H30年度に改善した点 | | | | | |
| | 根拠法令 | - | H30予算現額 | H30決算額(見込み) | ②参加人数 | | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | ダイアプラン圏域の魅力及び男女共同参画に関する周知を図りながら、男女の出会いの機会を提供した。 | | | | | |
| | 事業の具体的な内容及び目的 | 独身男女に出会いの場を提供しながら、地域の活性化を図るとともに市の魅力のPRを行う。 | H29正規職員人件費 | H29その他職員従事割合 | ③カップル成立数 | H29年度目標 | H29実績 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | | | | | |
| | 期間 | H23年度～ | 0.10人 | 非常勤特別職 | 実績 | 90.0% | 100.0% | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | 市の魅力PRに資する事業を引き続き展開していく。 | | | | | |
| | | | 849千円 | 臨時職員 | ①1回 | H30年度目標 | H30実績 | 参加人数を増やしたことにより、参加者同士の会話時間が十分に確保できず、満足率低下に繋がったと考える。 | | | | | | | | |
| | | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | ②59人 | 90.0% | 79.3% | | | 評価者 | | | | | | | |
| | | 0.05人 | 非常勤特別職 | ③9組 | R元年度目標 | | | | 企画総務課長 内野 孝雄 | | | | | | | |
| | | 419千円 | 臨時職員 | | 90.0% | | | | | | | | | | | |
| 経営企画課 | 実施計画ランク | 事業の種類別 | H29予算現額 | H29決算額 | 項目名 | 指標名 | 目標設定の考え方・根拠 | | B | 戦略指標である「地域のつながりの強さ」について、「強くなった」を選じた人が少ないことから、今後は地域のつながりを強くしていく取り組みが必要である。一方、昨年度「30～40歳代の転出入均等」について目標を大幅に下回ったが、今年度は改善されていることから、本指標に係る取り組みについて、一定の効果があったと考えられる。 | H30年度に改善した点 | | 無 | 無 | | |
| | 重要 | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 | 0千円 | 0千円 | ①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数 | 4つの戦略方針に掲げる戦略指標の達成率(7指標の平均値) | 戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標(KPI)」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略指標」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和元年度までを計画期間とし、令和元年度における達成率100%を目指すものである。 | | | | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | 総合戦略を推進していくうえで、若い世代の意見を聞くことが有意義と考えたことから、学習院大学の学生を対象に、「所沢市への移住促進」をテーマにワークショップを実施した。 | |
| | 根拠法令 | まち・ひと・しごと創生法 | H30予算現額 | H30決算額(見込み) | ②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関連する事業数 | | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | | 戦略指標の進捗状況が80%を切ったのは、「全国住みよさランキング」、「地域のつながりの強さ」の2項目である。「全国住みよさランキング」については、前年度よりも低くなったものの、定住意向は80.8%に増えていることから、多くの人が住みやすいとされていると思われる。「地域のつながりの強さ」では「変わらない」と答えた人が半数以上であるが、「強くなった」を選じた人が少ない状況であることが原因の1つと考えられる。 | | | | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み | |
| | 事業の目的及び具体的な内容 | 「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに、特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標(KPI)の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進捗管理する。 | H29正規職員人件費 | H29その他職員従事割合 | ③有識者等への進捗管理報告 | H29年度目標 | H29実績 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | 地域をつなぐを強くするため、戦略方針「(4)暮らしやすさをUP」に係る取り組みをより積極的に進めていく必要がある。 | | | | | |
| | 期間 | H27年度～ | 0.44人 | 非常勤特別職 | 実績 | 90.0% | 81.0% | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | 評価者 | | | | | |
| | | | 3,733千円 | 臨時職員 | ①192件 | H30年度目標 | H30実績 | H30目標値が未達成の理由・分析 | | | 経営企画課長 市川 勝也 | | | | | |
| | | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | ②32件 | 95.0% | 85.8% | | | | | | | | | | |
| | | 0.42人 | 非常勤特別職 | ③1回 | R元年度目標 | | | | | | | | | | | |
| | | 3,520千円 | 臨時職員 | | 100.0% | | | | | | | | | | | |